

平成26年度 学校評価のまとめ

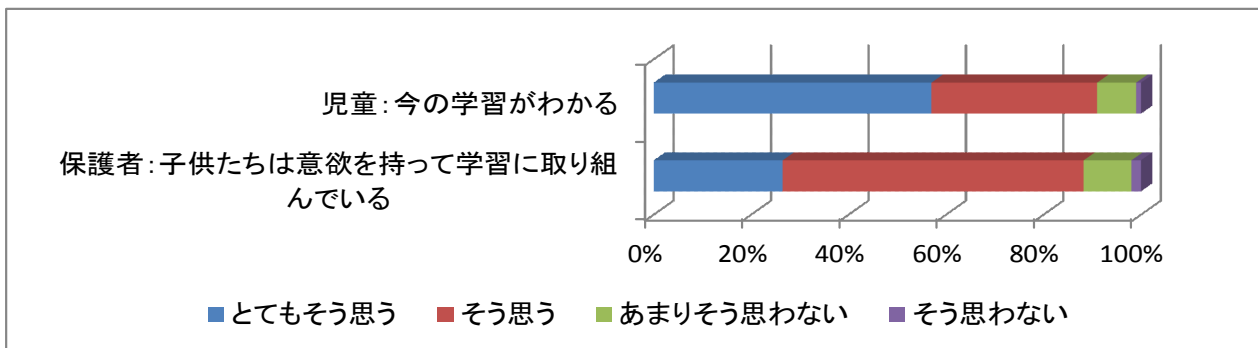
学習について

今年度、学校では「子供たちが戸惑わない発問」「授業内容を確認、振り返ることができる板書」「活用できるノート指導」を重点にした授業を進めてきました。保護者アンケートの「学校の授業は子供たちにわかりやすいものとなっていますか」という問いに「とてもそう思う・そう思う」の割合が約93%となっています。児童の「授業がわかる」という問いに「とてもそう思う・そう思う」と答えた割合は、約91%で、昨年度の約87%に比べ、今年度は約4%増えました。これからも子供にとってわかりやすい授業のため、先に示した点を意識しながら授業を進めて参ります。

昨年11月に人権尊重教育推進校として研究発表会を行いました。日頃から授業で実践していることが表れ、どのクラスも子供たちが集中して授業に取り組む様子が見られました。

算数では、3年生以上で習熟度別少人数指導を実施しています。4年生以上では学力向上支援講師も含め、2クラスを4グループに分けた指導を実施しています。1クラスの人数を少なくすることで、一人一人の様子に合わせて指導をすることがしやすくなります。わからない時は、すぐに先生に聞くことができるので、つまづきを少なくすることができ、わかりやすい授業にもつながっていると思われまます。

今後も指導方法を工夫して、子供がわかる授業、子供の力を伸ばす授業を工夫し実践していきます。

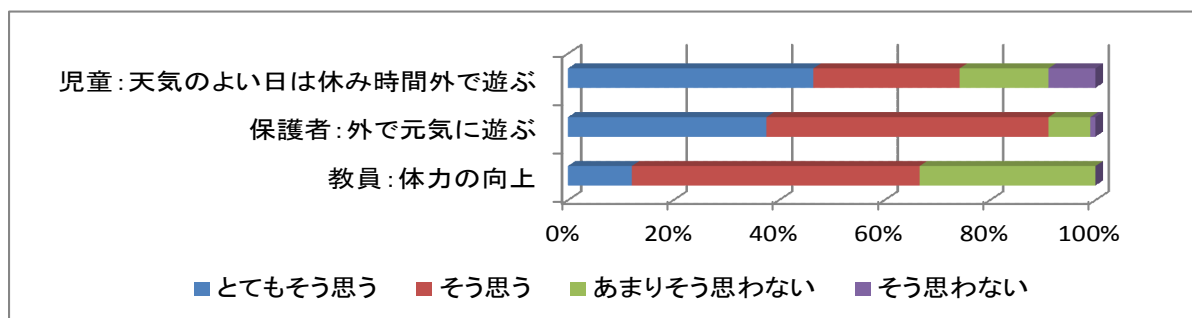


体力の向上

体育の授業を工夫したり休み時間の外遊びを呼びかけたりして、運動する時間を多くするなど取組を進めてきました。しかし、児童アンケートの結果を見ても、教員の評価を見ても、まだ十分とはいえない状況です。体力テストの結果を分析し、柔軟な身体作りや持久力の向上を図るために、体育の授業や意図的な休み時間の活動を工夫するなどしてさらに取り組んでいきます。

児童アンケートと共に実施した「寝る時刻調べ」では、「夜11時以降に寝ている」が全体の29%、「夜10時30分以降に寝ている」を合わせると58%という回答がありました。

体力の向上には、体を動かすもとになる睡眠や栄養が欠かせません。規則正しい生活も大切です。これはご家庭での力なしにはできません。生活のリズムを見直し、「早起き・早寝・朝ご飯」の習慣作りにご家庭でも取り組んでほしいと思います。

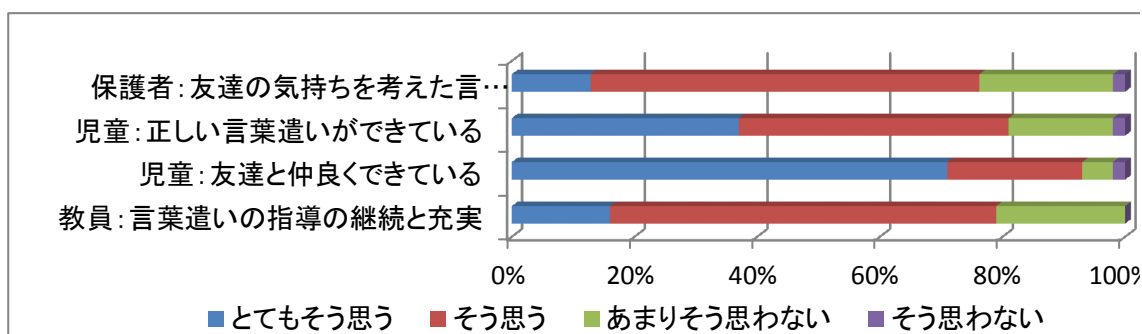


豊かな心の育成(挨拶・言葉遣い)

相手の気持ちを思いやる子、正しい言葉遣いができる子を育てるために、今年度も「言葉遣い」や「挨拶」の取組を工夫してきました。特に「挨拶」では、代表委員会が朝、門に立ち「おはようございます」と挨拶をする姿が見られたり、保護者の方が門で挨拶をしてくれたり、取組が広がっていきました。また校内にいらっしゃった方に自分から「こんにちは」と挨拶をする児童の姿も多くなりました。しかし、朝の挨拶はできるがその他の場所では十分にできていない・自分から声が出せない、という意見がありました。今後は、朝だけでなく、時や場所、相手に合わせて挨拶ができるよう、指導していきます。

言葉遣いについては、保護者の方からも『うざい・てめえ・むかつく』という言葉遣いに驚いた」等意見をいただきました。「自分と共に相手も大切に作る気持ちを育てる」中で、言葉遣いについても継続して指導していきます。

また言葉遣いを改めることは、学校だけではできません。日頃の大人の言葉遣いが子供に影響します。保護者の皆様にもご協力いただきながら、進めていきたいと思ひます。



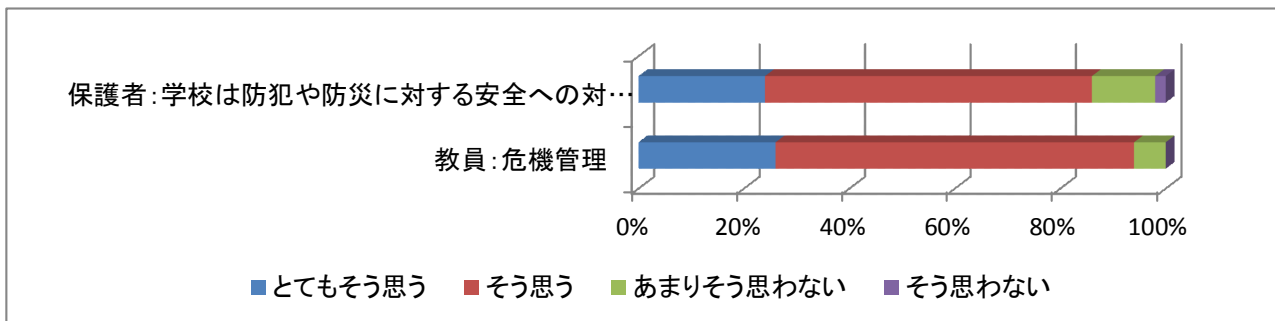
防犯・防災

防犯については、不審者を学校の敷地に入れないを第1に考え、「防犯のため門を閉めてください」の掲示をし、「通ったら門を閉める」「東と西の昇降口の扉を閉める」を行ってきました。また正面玄関にチャイムを設置し「校内で会った方に声をかける・挨拶をする」など行ってきました。今後も PTA のパトロールや学校安全安心ボランティアの協力を得ながら、防犯に努めていきます。

防災については、毎月行っている避難訓練の内容を見直し、6年生の起震車体験や消火器を使った消火訓練等を計画しました。訓練の実施時刻・場所を変えるなど、より様々な場面を想定した訓練を実施しました。今後も「自分の命は自分で守る」ことを繰り返し話し、実

践できるようにしていきます。

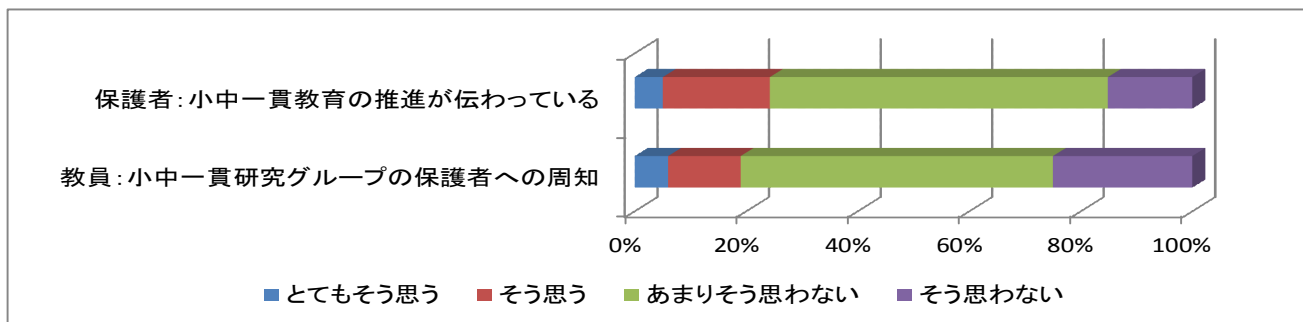
また本校の南町小地域防災委員会の方とも連携し、保護者や児童に防災訓練への参加を呼びかけ、子供たちも参加した訓練の実施をしていきます。



小中一貫教育の推進

保護者対象のアンケートで「小中一貫教育の学校の取組がわかりやすく伝わっていますか」という問いに対し、「とてもそう思う・そう思う」と答えた割合は約24%でした。また、実際に教職員も開進第二中学校と人権教育において9年間を見通したカリキュラム作成を進めていた教員でも、保護者への周知が十分でないという回答が約80%という結果でした。

南町小学校は、向山小学校と共に開進第二中学校グループとして昨年度より9年間を見通した児童生徒の育成に向け、「人権教育のカリキュラム編成」・「家庭学習の充実」・「児童生徒交流」の3点を中心に連携を進めてきました。しかし、保護者や地域の皆様に対して、その活動や成果を十分に伝えられなかったことが明らかになりました。今後は、各校で実践した内容について、共有し、ホームページや学校だより等でお知らせしていきたいと思ひます。



学校評議員の方から

保護者や児童、教員が行った学校評価の結果について、学校評議員会を開き、委員の方からご意見をいただきました。

○学習について……

落ち着いて授業を受けているという感想をいただきました。また「学習のまとめや成果である掲示物がよい」「教科書に沿ったノートになっていて、きれいに書けている。児童本人も書きやすいと思う」という意見をいただきました。これは「授業がわかる」という児童が増えたこととも関連しています。ノート指導等わかる授業に向けた取組を今後も継続し、子供

の力を伸ばしていきたいと思います。

○体力について……

「子供が外に出かけていくので、外で遊んでいると思っていた」「外に行っても遊ぶところが少ない」という意見をいただきました。体力向上に向けて、体育の授業等学校での取組を伝えましたが、その他にも校庭開放の活用など子供たちが身体を動かすことができる機会を作っていきたいと思います。また体力と関連して、給食の状況について質問をいただきました。現在、給食の残量はほとんどありません。また配膳された食缶をきれいに返すと、「ペロリン賞」がもらえるという取組を進めていますので、たくさん食べる子やクラスが増えてきていると思います。

また寝る時刻が遅い児童が多いことについて心配だという意見をいただきました。寝る時刻は学年が上がり、中学へ行くとさらに遅くなるので、小学校のうちに改善し、早く寝かすようにしてほしいという意見がありました。保護者へも啓発し、早寝の習慣がつくようにしていきたいと思います。

○豊かな心の育成について……

第2土曜の朝に保護者の方が門に立って挨拶をする運動を1月より始めましたが、子供たちから気持ちのよい挨拶が聞かれたという意見がありました。言葉遣いについては、周りにいる大人の影響も大きいという意見がありました。このことについては、学校だけでなく、保護者や地域の方とも一緒に改善に向けて進めていきたいと思います。

また、評議員の方から、学校外のところで南町小の児童や卒業生が声をかけている姿から、異学年の縦のつながりを感じるという意見をいただきました。「子供が子供をはぐくむ」活動を今後も継続し、豊かな心の育成につなげたいと思います。

○防犯・防災について……

毎月の避難訓練や地域の防災訓練に、子供たちが危機意識を持って訓練に参加できるようにしてほしいという意見がありました。実際に体験することでいざという時に役に立ちます。今後も小学生でもできることがある、ということを経験する機会を作りたいと思います。

○小中一貫教育について……

「小中一貫教育のイメージがつきにくい」「実感がない」という意見をいただきました。南町小の夏祭りに中学生が参加しているなど関わりはあります。しかしそれだけでなく、地域の子供として小学校から中学校への9年間を通してみていくことが大切です。小学校・中学校が、共に9年間を見通した教育を進めることを意識し、システムを構築する取組をさらに進めていきます。また保護者や地域の皆様に取組について、学校だよりやホームページ等で紹介し、お知らせしていきます。